

右のページ全体をかざすと紙面が動きます。

今を生きる喜びと明日に抱く希望。二十歳。今月号は「成人式特集」。平成26年三芳町成人式典の様子、新しい門出を迎えた『ハタチの気持ち』をお伝えします。

今年390人が成人式を迎え 未知への道を歩き出しました。

成人式の歴史

冠婚葬祭の「冠」は成人式を意味することをご存知ですか。昔、男子の成人を示すものとして行われていた儀式「元服」で、「冠を付ける」(かぶる)ことに由来したものです。今日の成人式のルーツは、終戦間もない1946年11月22日、埼玉県蕨町(現蕨市)で行われた「青年祭」です。敗戦による虚脱状態の中で、次代を担う若者たちを励まし、希望を持たせようと、地元青年団が企画しました。これがやがて全国へ広がり、影響を受けた国は48年に施行された国民の祝日に関する法律で翌年から1月15日を成人の日に制定し、98年の国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律(通称ハッピーマナー法)に伴い、2000年から

成人の日は1月第2月曜日になりました。

新しい門出を自らの手で

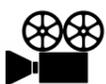
1月13日(月・祝)、コピスみよしで平成26年三芳町成人式典が行われました。今回対象となる成人者数は、男性207人、女性183人の計390人。そのうち新成人代表11人が実行委員として、この日の式典の企画や準備等を行い、さらに式典のなかで流す「思い出のスライドショー」の映像は、今月号の表紙の桜井さんが作成しました。ハタチという新しい門出を新成人たちが協力しあい、自らの手で作り上げていく試みは昨年からはじまり、今年も同様に行われました。

式典では、新成人代表として竹之内健太さん、桜井愛姫さんがスピー

チを行い二十歳になった決意、その想いを皆さんに届け、桜井さんが作成したスライドショーでは懐かしい思い出写真が流れると会場は大盛り上がり。最後は尚美学園大学吹奏楽部の素敵な演奏で幕を閉じました。式典終了後は記念撮影が行われ成人式当日の会場となったコピスみよし周辺では、旧友との再会に喜ぶ光景や、色鮮やかな振袖を身にまとった新成人の皆さんを家族で写真におさめる姿などが見られました。■

覚えていませんか? 20年前のこと 1994年のおもな出来事など

- ▶ F1アイルトン・セナが事故死(5月1日)
- ▶ 大江健三郎、ノーベル文学賞受賞(10月13日)
- ▶ リレハンメル冬季五輪で男子のノルディック複合団体が日本が金メダル獲得
- ▶ ヒット曲…Mr.Children「Tomorrow never knows」、EAST END × YURI「DA.YO.NE」等
- ▶ 流行語大賞…「同情するならカネをくれ」(テレビドラマ家なき子)



「いつでも自分を信じ
前に突き進もう。」



成人式実行委員長・新成人代表
竹之内 健太さん